

【お問い合わせ先】

株式会社イトーヨーカ堂 サステナビリティ推進部
〒140-8450 東京都品川区南大井六丁目27番18号
Tel.03-5493-6705



イトーヨーカドー サステナビリティ活動報告
<https://www.ito yokado.co.jp/company/iycsr>



お願い:本冊子が必要なくなった際は、再資源化のため、
お住まいの地域のルールでリサイクルいただくようお願いいたします。



明るい未来のために できること



イトーヨーカ堂 環境・社会への取り組み
2025~2026



地域の暮らしを いつまでも豊かにする 存在でありたい



イトーヨーカ堂では、お客様が日々ご来店されるお店が主体となり、

地域に密着した商品・サービスの提供に取り組んでいます。

地域と協力し、お客様の声に耳を傾け、

お困り事を解決し、

暮らしを豊かにするお店づくりを目指しています。

イトーヨーカ堂が歩む3つの行動。



地球環境に配慮した商品やサービスの提供、脱炭素・循環経済・自然と共生する社会の実現を目指します。



お客様とのあらゆる接点を通じて、地域・コミュニティとともに住みやすい社会の実現を目指します。また、お客様やお取引先様と協力し、エシカルな社会の実現を目指します。



従業員の働きがい・働きやすさを向上し、多様な人々が活躍できる社会の実現を目指します。



暮らしと環境に いいものをいつまでも

イトーヨーカ堂では、「脱炭素社会」「循環経済社会」「自然共生社会」を目指し、
地域のお客様やお取引先様と一緒に取り組んでいます。

環境や人権に配慮した商品

生産する過程の環境配慮、生産者の人権
や安全、家畜の飼育環境に配慮した商品
の品揃えを拡大しています。

MEL認証



ASC認証



JGAP認証



MSC認証



「顔が見える食品。」

イトーヨーカ堂のオリジナルブランド「顔が見える食品。」では、野菜や果物などの商品一つひとつに、生産者様一人ひとりのお名前と似顔絵をつけています。商品についている二次元コードを読み込むと、生産者様がどのような思いやこだわりを持って、育てられているかを確認できます。2002年のスタート以降、20年間で約7,000人もの生産者の方々と関係を築き上げ、安全・安心でおいしい食品をお届けし続けています。



協力生産者数
約7,000人
(2023年度実績)

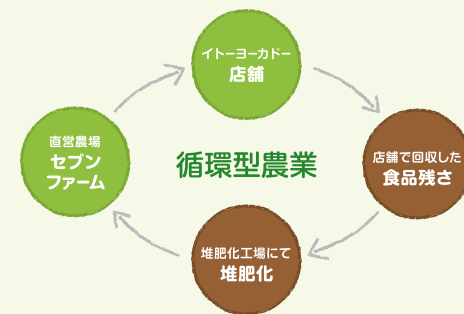
地場野菜売場

地域の食材や生産者様から直接仕入れた野菜を積極的に展開しています。収穫場所からお店に運ぶ距離が短いため、鮮度が抜群な野菜を提供できるほか、トラックからのCO₂排出量も抑えられます。また、新しい地場製品の開拓もしています。



セブンファーム

お店で出る野菜くずなどから栄養価の高い堆肥をつくり、その堆肥を使用して地域の生産者様とともに野菜を育てています。収穫した野菜は、地元のイトーヨーカドーで販売しています。



お店や工場で出た生ゴミを肥料にして新しい作物を育てて、その作物をまたお店で売る方法を、循環型農業といいます。





3つのRを考えて ものを大切にしよう！

① リデュース

ものを大切に使いごみを減らす

② リユース

使えるものは繰り返し使う

③ リサイクル

いらないものを
資源として再び利用する

ペットボトルリサイクル

イトーヨーカ堂では、飲み終わったペットボトルの容器を回収しています。回収したペットボトルはリサイクルされ、新しいペットボトルに生まれ変わります。また、資源をリサイクル素材として使うだけでなく、さらに品質の良いものにするのを「アップサイクル」といい、その一環として回収したペットボトルを細かく砕いて再生糸にし、それを使用した肌着を店頭で販売しています。



約1億5,376万本の
ペットボトル(500ml換算)を回収
(2023年度実績)



てまえどり

「てまえどり」とは、商品を購入する時に商品棚の手前に並べられている消費期限や、賞味期限が近くなった商品から手に取っていただくこと。すぐに食べる場合には期限の迫った商品を積極的に選んでいただくことで、期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスの削減につながります。



再生可能エネルギー

イトーヨーカ堂では26店舗で太陽光発電パネルを設置しており、アリオ市原では屋根に設置した大規模な太陽光パネルによる発電システムによって、お店全体の電力使用量の約25%を賄い、使用電力におけるCO₂排出量も約25%削減しています。また、アリオ亀有を含め21店舗では、お店で使用する電力は、再生可能エネルギー(太陽光発電)を100%使用しています※。自然の力を電気に変える事で、CO₂排出量の削減に努めています。



太陽光発電パネル



※ 太陽光発電パネルのほか、
敷地外から再生可能エネルギーを店舗に供給

太陽光発電パネル
設置店舗数
26店舗
(2025年2月)





頼りになるいつものお店

イトーヨーカ堂では、買い物困難者などへの移動販売やお届けサービスのほか、店内や店外での活動を通じて、積極的に地域住民の方と関わり、お客様のご不便を解消する取り組みを推進しています。住みやすいまちづくりを目指して、地域のインフラとして暮らしの安全・安心に貢献していきます。

OniGO

スマートフォンやWEBサイトを通じて、イトーヨーカドーやヨーク店舗の新鮮な野菜や果物、精肉などの生鮮食品から日用品や衣類まで、最大約8,000種類の品目を購入することができます。また、注文いただいた商品は、最短40分でお届けでき、非対面でのお渡しや、現金払いでの注文も可能です。



とくし丸

移動販売車「イトーヨーカドー とくし丸」では、食料品や日用品など約400品目1,200アイテムをトラックに積み、お客様のご自宅の近くへ定期的に訪問し、商品を販売しています。ご来店が困難なお客様にも「お買物の楽しさ」を感じていただくとともに、各販売先ではお客様同士のコミュニケーションの場にもなっています。また、高齢者の「見守り活動」の役割も担っており、週2回の移動販売を通じてお客様の様子を把握して、地域の福祉ネットワークに情報提供を行っています。



50店舗61台
(2025年3月)





地域活性化包括連携協定

より良いサービスや地域活性化への貢献を目的として、地域の自治体と地域活性化包括連携協定を締結しています。さまざまな場面で自治体と連携し、安全・安心な街づくりを進めています。

●地域活性化包括連携協定とは？

その地域が抱えている課題の解決や活性化などを目指して、福祉や環境など多様な分野で地域と企業が協力体制をとることをいいます。

協定締結 累計81自治体
(2024年12月)

フードドライブ

お客様から家庭で消費しきれない食品を寄付いただき、お店からフードバンク団体へ渡して子ども食堂や食の支援を必要としている方々にお届けしています。『もったいない』が『ありがとう』に変わる、社会貢献活動です。



お店に集まった
食品の量は
累計約167.4t
(2024年11月)

投票所の設置

投票率の向上を目指す自治体と連携し、店舗内に期日前投票所を設置しています。有権者の皆様がよりアクセスしやすく、お買物のついでに投票が可能です。



募金活動

イトーヨーカドー・ヨーク全店に募金箱を設置し、通年で募金活動を実施しています。一つの社会課題にかたよらないよう、3カ月ごとに支援先を変更するほか、災害時の支援募金も実施しています。



募金総額 54,048,234円
(2023年度実績)

店頭募金、セブンマイルプログラム(WEB募金)、
従業員からの募金、緊急災害募金込み

防災啓発活動

いざという時に頼りにされるお店となるため、ハザードマップの掲出や防災協定の締結も積極的に行い、防災訓練にも力を入れています。





ちびっこ職場体験

イトーヨーカ堂が創業100周年を迎えた2020年から始めています。ユニフォームを着用後、アルコール消毒をしないと扉が開かないトイレ、食品を保管する-20℃の冷凍庫など従業員しか入れない場所を探検するほか、レジ打ちや売場での試食販売、店内放送なども行う職場体験は、お子様はもちろん保護者の方からも好評です。また、小中学生の職場体験も受け入れています。

職場体験に参加いただいたお客様は
2,280人 (2024年)



赤ちゃん休憩室

お買物時の利便性向上のため、小さなお子様連れのお客様にもゆっくりお買物を楽しんでいただけるように各店舗に設置しています。長時間のお買物でも安心な「授乳室」「おむつ交換台」「ミルク用のお湯」などを備えています。



78店舗
(2025年1月)

※他社管理を除く

マタニティ・育児相談室

地域社会への貢献事業(子育て支援)として1975年に開設。店舗に設置の『赤ちゃん休憩室』内にて、“助産師”または“保健師”の資格を持つ相談員が出産や育児の相談に無料で対応しています。(曜日・時間・相談員は固定し定期的に開催) 妊娠・出産・子育てについて気になることや心配なことなど、お買物のついでに予約不要で気軽に相談できてアドバイスを受けられるとお客様に喜ばれているサービスです。 ※一部、実施していないお店があります。



71店舗
(2025年1月)

保健師・助産師 61人 (2025年1月)

高齢者支援

イトーヨーカ堂は、認知症の方とその家族の方々が安心して商品・サービスを利用できる店舗づくりに努めています。認知症サポーター養成から地域連携ネットワークを構築し、2022年には小売業で唯一“認知症バリアフリー宣言”をしました。その一環として、認知症の正しい知識を身につける「認知症サポーター養成講座」の受講を全従業員に推進しています。また、介護用品の豊富な品揃えに加え、福祉用具専門相談員に相談しながらお買物ができる「あんしんサポートショップ」も展開しています。



認知症サポーターの養成人数
18,830人 (2024年12月)





いつもイキイキ働ける場所

イトーヨーカ堂では、子育てや介護をされている方、障がいのある方など多様な人財が、年代や国籍を問わず活躍しています。働く仲間たちが「いつも」イキイキ働ける職場づくりに努めています。

ワーク・ライフ応援プラン

出産・育児・介護・治療と仕事を両立するために、休職または時短勤務ができるプランです。「休職プラン」「短時間勤務プラン」「再雇用プラン」の3つから自身が選択でき、組み合わせも可能です。

プラチナくるみんプラス

育児休暇の充実や育児短時間勤務など、従業員の仕事と育児の両立支援への取り組み、および仕事と不妊治療の両立支援への取り組みを実施する企業の中で、一定の要件を満たした場合に認定を受けられます。イトーヨーカ堂は、大手小売業で初めて認定を受けました。(2023年8月)



えるぼし

イトーヨーカ堂は2016年10月に厚生労働大臣から「えるぼし企業」に認定されました。女性活躍企業として認められる5つの評価項目*を全て満たし、最高位である3段階目の認定を取得しました。

※「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多彩なキャリアコース」



販売技術コンクール

店舗で売られている見栄えの良いお刺身やカットフルーツ、綺麗に商品が陳列された売場などは、パートナー社員の活躍によるものです。その方たちのさらなる技術の磨き込みやモチベーションアップのため、コンクールを開催し、優れた技術を持つ方を表彰しています。



社内表彰制度

従業員が主体的に考えた、お客様満足度をより高める取り組みや業務効率改善の取り組みなど、優れた挑戦を称賛する社内表彰制度を導入しています。例えば、店舗一丸となり様々な工夫を凝らして実現した地域を巻き込んだイベントや、お客様からの「お褒めの言葉」で特に優秀なものなどを対象に、一定の期間ごとに表彰を行っています。





eco検定の受験推進

企業が持続可能な経営をしていくためには、従業員が環境について学び、仕事に活かすことが不可欠です。イトーヨーカ堂では環境社会検定試験(eco検定)[®]※の取得を進めており、2024年までに累計5,000人以上が合格。受験促進とともに店舗での環境活動が評価され、「eco検定アワード2024」において『大賞』を受賞しました。

※環境社会検定試験(eco検定)[®]は東京商工会議所の登録商標です。

障がい者雇用促進

障がいのある人もない人も一緒に過ごすノーマライゼーションを目指し、誰もが活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。特別支援学校などからの店舗実習を積極的に受け入れ、地域のハローワークと連携しながら継続的に採用を行っています。

障がい者雇用率 3.22%
(2024年2月)

ノーマライゼーション研修

さまざまな人権問題について学び、正しい知識を身につけて相手の立場や気持ちに寄り添うための研修を行っています。実際に白杖や車いすを使用するなど、状況に合わせて適切な行動ができるよう従業員の理解促進に努めています。



お客様、地域に寄り添い 「日常の豊かさ」をお届けする

＊

一つひとつの商品とサービスを、お客様がもっと笑顔になれるようないいものに。

「うれしくなれるから、また明日も行こう」そんな風に思ってもらえるようないつものお店に。

お客様にとってそんな存在になるために。そして、明るい未来のために。

イトーヨーカ堂は、今後も様々なことに取り組み、

お客様に「日常の豊かさ」をお届けします。

